

3級商業簿記		講義	准教授 岩下 尚義	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目 経営・経済コースの専門 選択科目	科目ナンバリング	23022101	

### 1. 授業のねらい・概要

簿記とは、会計学の中で「帳簿記録」の作成基準や方法を学ぶ科目である。簿記の計算を身につけることで、ビジネスの言語とも呼ばれる「会計」の知識をより実践的なものにできる。本授業は、一般的な簿記の計算や財務諸表の作成方法を学ぶことで、日商簿記検定試験3級の学習内容をカバーする。また、単に検定の合格を目指すのではなく、しっかりと意味を理解したうえで簿記を身につけることで、3級だけでなく今後の検定試験や会計の世界において躓くことがない「土台」を築くことを目標とする。

### 2. 授業の進め方

講義形式で行う。授業は、インプット（講義）とアウトプット（演習）をバランスよく実施する。インプットでは、テキストやその内容をまとめたレジュメなどを用いて説明する。アウトプットは、テキストに収録された問題集なども用いるため、必ずテキストを購入し毎回持参すること。授業では、日商簿記検定3級の過去問題レベルの問題も頻繁に紹介し、知識だけでなく検定試験対策も同時に実施する。

### 3. 授業計画

1. 簿記の基礎	9. 経過勘定
2. 商品売買	10. 帳簿への記入と試算表
3. 現金, 預金	11. 伝票
4. 小口現金, 手形	12. 決算整理
5. 貸付金・借入金, その他の債権債務	13. 財務諸表の作成
6. その他の費用, 貸倒れ	14. 帳簿の締め切り
7. 有価証券と減価償却	15. チェックテストの演習と解説
8. 株式の発行, 剰余金の処分, 法人税	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回テキストの該当箇所を事前に読むことが望ましい。また、復習はテキストを読むだけではなく、テキストの問題を中心に解くことが大切である。これらの準備学修には1時間程度が必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際は、解答のポイントや出題意図を（試験）終了直後に説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

簿記の基本的な仕組みを理解した上で、日商簿記検定試験3級に合格できるレベルに到達することを目標とする。

### 7. 成績評価の方法・基準

平常点50%（授業への取り組み姿勢）および期末テストの結果50%の割合で成績評価を行います。

### 8. テキスト・参考文献

テキストは、滝澤ななみ著（2023）『スッキリわかる 日商簿記3級 第14版』TAC出版を使用する。なお、本テキストは改訂される可能性があるが、授業では最新版を使用する。

#### **9. 受講上の留意事項**

受講にあたって、簿記や会計の知識は問わない。授業は積み上げのため、毎回出席することが望ましい。また、授業では必ず電卓を持参すること。

#### **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、税理士としての実務経験を活かして指導する。

#### **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。